

[3] 貸借対照表

貸借対照表について、推計を行いましたので報告いたします。

貸借対照表（推計）

資産の部

(単位：千円)

科 目		24年度末	23年度末	増 減
資 産	固定資産	20,773,931	21,122,278	△ 348,347
	有形固定資産	17,859,982	18,240,051	△ 380,069
	その他の固定資産	2,913,949	2,882,227	31,722
産	流動資産	2,864,728	2,892,329	△ 27,601
合 計		23,638,659	24,014,607	△ 375,948

有形固定資産は減価償却により減少しますが、その他の固定資産では創立100周年記念引当特定資産へ1億円、減価償却引当特定資産へ5千万円、退職給与引当特定資産へ1億円を積み立てましたが、創立100周年引当特定資産から創立100周年記念事業特別会計への支出2億1,600万円を充当しましたので、総額では3,172万円の増加となります。流動資産では現金預金がキャッシュフロー計算書の繰越支払資金の増加額8,604万円増加しますが、退職金財団からの交付金が主である未収入金は1億1,364万円減少します。

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部

科 目		24年度末	23年度末	増 減
負 債	固定負債	2,868,908	3,154,577	△ 285,669
	長期借入金	694,250	860,870	△ 166,620
	学校債	540,500	532,700	7,800
	長期未払金	16,084	26,365	△ 10,281
	退職給与引当金	1,618,074	1,734,642	△ 116,568
	流動負債	990,323	1,229,265	△ 238,942
	短期借入金	166,620	166,620	0
	学校債	103,400	107,200	△ 3,800
	未払金・前受金・預り金	720,303	955,445	△ 235,142
計		3,859,231	4,383,842	△ 524,611
基本金		28,772,406	28,441,024	331,382
消費収支差額		△ 8,992,978	△ 8,810,259	△ 182,719
合 計		23,638,659	24,014,607	△ 375,948

退職給与引当金については、1,369万円を繰入れしますが、24年度退職者分5,181万円を取崩します。また過剰計上となった部門の戻入額が7,845万円が発生しましたので、1億1,656万円の減少となります。

固定負債のうち、長期借入金は24年度返済予定額の1億6,662万円減少します。流動負債については短期借入金のうち、未払金については2億3,561万円の減少となり、負債総額は5億2,461万円の減少となります。

施設支出、設備支出、借入金の返済などにより第1号基本金への組入れを行い、基本金は3億3,138万円の増加となります。

正味資産	19,779,428	19,630,765	148,663
減価償却累計額	11,196,259	10,651,475	544,784
基本金未組入額	875,398	1,044,343	△ 168,945
運用資産－負債総額	1,919,446	1,390,714	528,732

消費収支計算書の帰属収支差額(帰属収入－消費支出)の1億4,866万円が正味資産の増加となります。

(注) 正味資産＝資産－負債（＝基本金＋消費収支差額）

運用資産＝その他の固定資産＋流動資産